令和３年６月 23 日

令和３年度　第１回　学校運営協議会

＜運営協議会委員＞

名　　前	職　　名
松　宮　新　吾	追手門学院大学教授
河原林　昌　樹	弁護士
橘　　朋　伸	門真市立第二中学校長
三　村　泰　久	門真市立脇田小学校長
髙　山　拓　也	門真市教育委員会
桐　山　千　明	門真なみはや高校ＰＴＡ会長

＜事務局＞

瓜　生　彩子	教頭	桂　田　　光	生徒指導部長
久　森　雅　代	事務長	松　村　尚　之	生徒会指導主担
宮　薗　賢　二	首席・３学年主任	黒　田　いつみ	保健部長
山　村　裕　子	首席	藤　田　和比郎	総務部長
加　藤　勝　哉	教務部長	小　田　　悟	２学年主任
野　村　明日香	進路部長	山　田　浩　二	１学年主任

＜開催日時＞　令和３年６月 23 日　　15 時～16 時

＜内容＞

〇学校長挨拶

〇委員、教職員の紹介

〇要項の確認

〇議事

＜審議事項＞

１　令和３年度学校経営計画について

２　その他

＜報告事項＞

１　第１回授業アンケートについて

２　教科書採択について

３　各学年、分掌より

４　その他

＜審議事項＞

〇学校経営計画について（第１号議案）

（校長より詳しい説明）

・生徒が自主的に取り組めるよう、わかりやすく一方的にならない授業をめざす。

・キャリア教育の推進。様々な課題を抱える生徒も支援する。

・職員の連携をさらに密にする。

・グローバル人材の育成。コロナ禍でも実施可能な国際交流の推進。

Ｑ:観点別評価に向けて自校のガイドラインは作成しているか？

Ａ：夏休みまでに完成する予定。

➡（第１号議案）　承認

＜報告事項＞

〇授業アンケートについて

経年変化を検証するために昨年度と質問項目は同じ。①教員からの一方通行の授業にならないこと、②授業の中で生徒が主体的に取り組む時間を作ると観点で作成している。１回目を７月、２回目を 12 月に実施予定。

〇来年度採択教科書の見本を展示して報告。

〇各学年からの報告。

（１学年）学校にも馴染み、音楽・体育なども積極的に取組んでいる。新型コロナ感染拡大防止のため授業のグループワーク・クラブ活動に制限があるものの、本学年はコロナ禍でも実現可能な行事を実施してきた。

（２学年）昨年度入学式も含め登校できなかった学年であるができることを楽しんでいる。現在は修学旅行、文化祭に向けて取組んでいる。

（３学年）最高学年になり出席状況が改善した。英語の学習を頑張っている生徒が増え、その姿に影響を受け周囲もよく学習するようになった。４月の校外学習、６月の体育祭がすべて延期になっているので代替行事を検討中。

いただいた意見

・「こころの再生」における生徒と高齢の方々との交流が大変良い。

・コロナ禍においても生徒が充実した時間がとれるよう先生も頑張っていただきたい。

・昨年度の中学生たちはコロナ禍で様々な行事をあきらめてきた。その生徒たちが入学し、このような経験をさせてもらえてうれしい。学校生活がよいものだと実感させてやってほしい。

・地域で出会う生徒たちはみな楽しそうないい表情をしている。

・進学率、キャリア教育の取組みなどから、総合学科の中でもポテンシャルが高い学校である。是非今後とも頑張ってもらいたい。

次回開催日時は、10 月 20 日を第一候補に調整する。